



滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報
平成 29 年第 18 週 (5/1~5/7) 【概要版】
 平成 29(2017)年 5 月 12 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎とインフルエンザです。
 (ア) 感染性胃腸炎は、長浜保健所管内で特に多く報告されています。
 (イ) 流行性耳下腺炎は、過去 5 年の同時期の平均と比べて約 4 倍多く報告されています。

2. 報告数が多かった小児科定点把握疾患(五類感染症) (i)

(1) 滋賀県

疾病名	滋賀県						保健所別 (iv)						
	2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
感染性胃腸炎	4.50	4.34	4.06					↑			多	多	
流行性耳下腺炎	0.44	1.03	0.97		○	○	多	多		多			↑
インフルエンザ	2.38	1.81	0.92				多		多				↑

(2) 前週の全国および近隣府県の状況(下線; 滋賀県よりも多い)

疾患	全 国	滋 賀 県	大 阪 府	京 都 府	福 井 県	岐 阜 県	三 重 県
感染性胃腸炎	<u>6.60</u>	4.34	<u>7.60</u>	<u>6.03</u>	<u>15.32</u>	3.68	<u>6.16</u>
流行性耳下腺炎	<u>3.14</u>	1.81	1.52	<u>2.38</u>	<u>5.47</u>	1.56	1.68
インフルエンザ	0.53	1.03	0.45	0.34	0.27	0.72	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<u>2.69</u>	1.13	<u>2.55</u>	<u>1.66</u>	<u>2.55</u>	<u>1.30</u>	<u>1.33</u>



3. 全数把握疾患(滋賀県、今週診断例)

類型	疾病名	滋賀県					保健所別						
		2週前	1週前	今週	例年より 多い (iii)	例年より 非常に多い (iii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島
二類	結核	3	4	2	○			1	1				
五類	レジオネラ症	0	0	1				1					
五類	梅毒	0	0	1	○			1					

- i. 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握
- ii. 警; 警報発令、注; 注意報発令
- iii. 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)
- iv. 「警; 警報開始基準値を超過」、「注; 注意報基準値を超過」、「多: 今週の滋賀県の値よりも多い」、「↑: 前週比増加」(「警報」、「注意報」、「多」、「↑」の順に優先して標記)

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

平成 29 年第 18 週 (5/1~5/7) 【詳細版】

平成 29(2017)年 5 月 12 日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント(概要版より再掲)

- (1) 報告数が多かった疾患は、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎とインフルエンザです。
 (ア) 感染性胃腸炎は、長浜保健所管内で特に多く報告されています。
 (イ) 流行性耳下腺炎は、過去 5 年の同時期の平均と比べて約 4 倍多く報告されています。

2. 定点把握疾患(五類感染症)の定点当たり報告数(全国は前週の値) i, ii, iii, iv

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県			例年より 多い (iii)		例年より 非常に多い (iii)		保健所別 (iv)						全国 (前週) (iv)	基準値				
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (ii)	警報 注意報 (ii)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島	警報 開始	警報 終息	注意報				
インフルエンザ (定点数:53)	インフルエンザ	2.38	1.81	0.92					2.18	0.50	1.00	0.88	0.14	0.43	0.67	3.14	30	10	10	
	RSウイルス感染症	0.09	0.09	0.19		○	○		0.14	0.17	0	0.60	0	0.25	0	0.28	—	—	—	
	咽頭結膜熱	0.28	0.34	0.50		○			0	1.50	0.25	0.80	0	0	1.00	0.48	3	1	—	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	1.13	0.72					1.00	0.50	0.50	0.80	0.25	0.75	1.50	2.69	8	4	—	
	感染性胃腸炎	4.50	4.34	4.06					3.57	4.00	1.50	3.60	4.75	9.50	0	6.60	20	12	—	
	水痘	0.34	0.44	0.50					0.57	0.67	0.50	0.60	0.75	0	0	0.36	7	4	4	
	小児科 (定点数:32)	手足口病	0.22	0.16	0.72		○			1.57	1.00	0.25	1.00	0	0	0	0.43	5	2	—
		伝染性紅斑	0	0.03	0.03					0	0	0	0.20	0	0	0	0.07	2	1	—
		突発性発しん	0.56	0.34	0.44					0.86	0.50	0	0.60	0.25	0.25	0	0.52	—	—	—
		百日咳	0	0	0.03		○			0	0	0.25	0	0	0	0	0.01	1	0	—
ヘルパンギーナ		0.09	0.06	0.19		○			0.57	0	0	0	0	0	1.00	0.07	6	2	—	
	流行性耳下腺炎	0.44	1.03	0.97		○	○		1.86	1.17	0	1.60	0	0.50	0.50	0.53	6	2	3	
眼科 (定点数:8)	急性出血性結膜炎	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0.01	1	0.1	—	
	流行性角結膜炎	0.25	0	0.25		○			0.50	1.00	0	0	0	0	0	0.56	8	4	—	
基幹 (定点数:7)	細菌性髄膜炎	0.14	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0.04	—	—	—	
	無菌性髄膜炎	0	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0.03	—	—	—	
	マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0					0	0	0	0	0	0	0	0.25	—	—	—	
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0.14	0					0	0	0	0	0	0	0	0.01	—	—	—	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0.14	0.29	0					0	0	0	0	0	0	0	0.83	—	—	—	
	インフルエンザ (入院例に限る)	0.14	0.14	0.14		○			0	0	0	0	0	1.00	0	0.47	—	—	—	

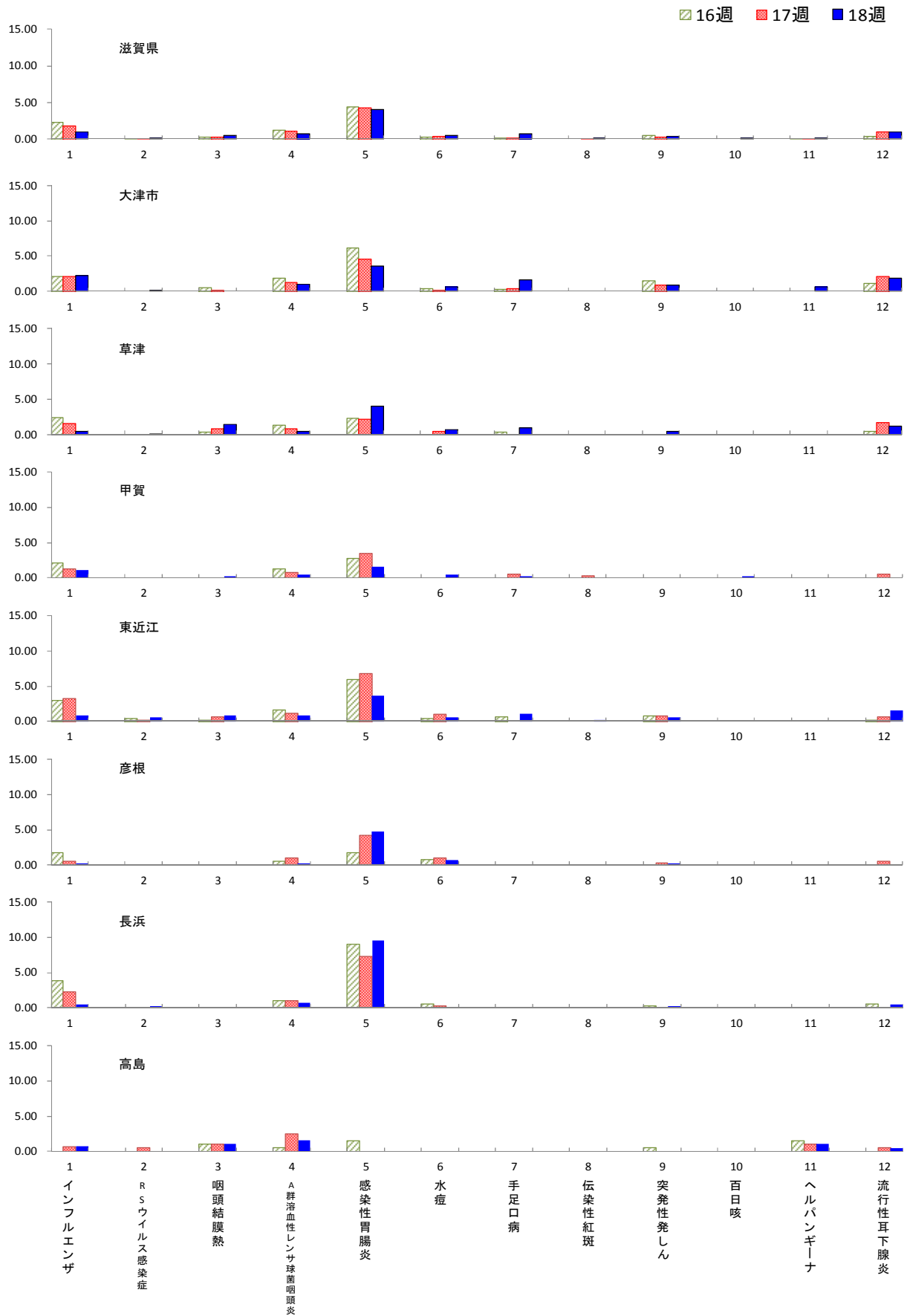
i 定点把握疾患:人口及び医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

ii 定点当たり報告数が「警報開始基準値」を超える全ての保健所の管内人口の合計が、県人口全体の 30%を超えた場合に滋賀県全域に警報を発令(「警」)します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」を超えた場合に注意報(「注」)を発令します。

iii 今週の値が過去 5 年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値 + 2 × 標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記(定点把握疾患の平均値は過去 5 年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用)

iv **赤字斜字**:警報開始基準値を超過、**紫字斜字**:注意報基準値を超過

3. 定点把握疾患(五類感染症)の保健所別推移(滋賀県、今週と過去 2 週)



4. 定点把握疾患(五類感染症)の年齢階級別報告数 (滋賀県、今週)

インフルエンザ定点 (53医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	49	1	2	2	-	1	4	6	5	2	-	-	5	2	1	3	11	1	2	-	1
大津市保健所	24	-	1	1	-	-	4	3	3	-	-	-	-	1	-	1	8	-	1	-	1
草津保健所	5	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	7	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-
東近江保健所	7	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
彦根保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長浜保健所	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-

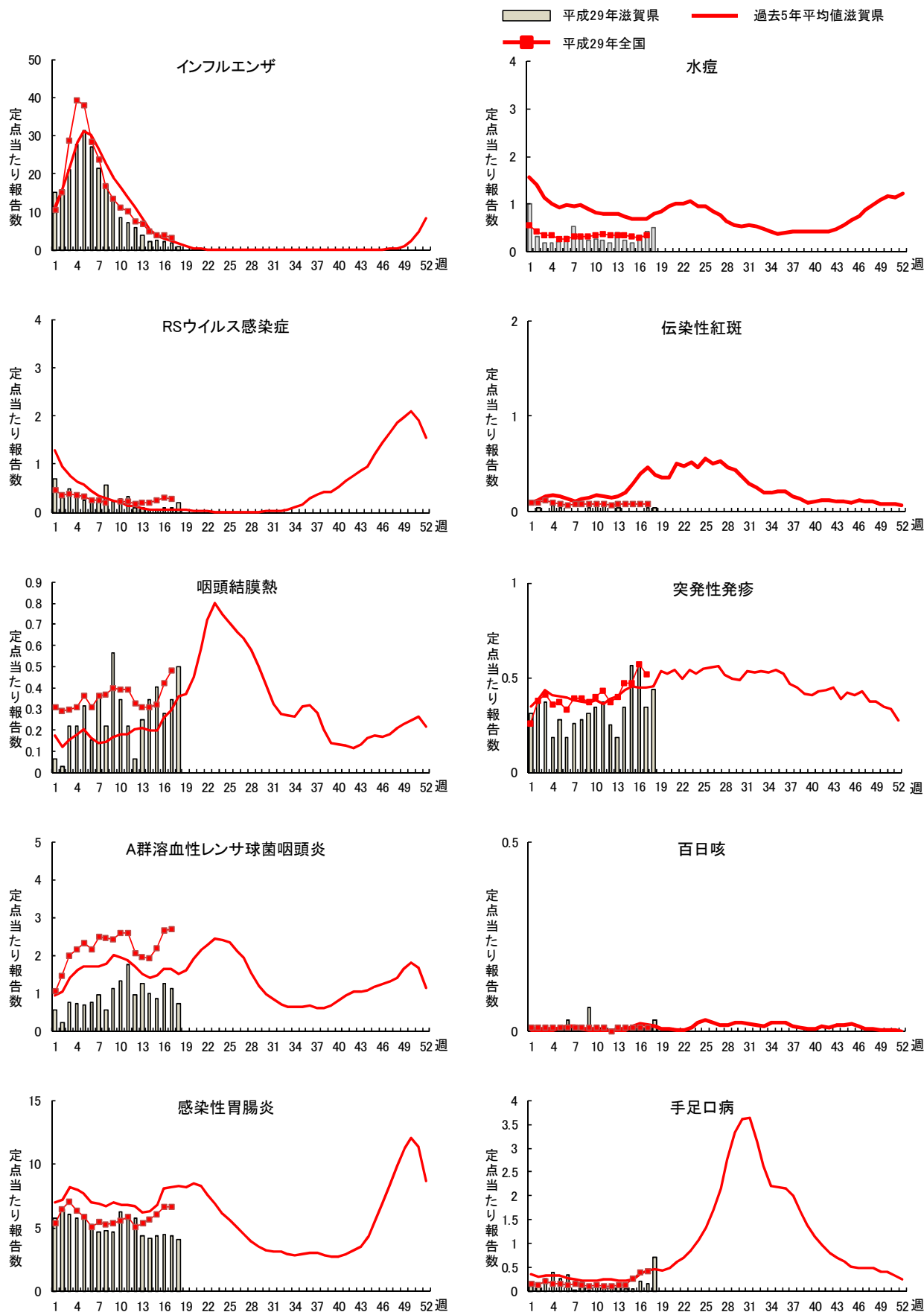
小児科定点 (32医療機関)	総数	0～5ヶ月	3～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	6	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱 (プール熱)	16	-	2	3	2	4	2	2	1	-	-	-	-	-	-
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	23	-	-	-	-	3	4	9	-	2	1	1	-	-	3
感染性胃腸炎	130	1	11	18	16	20	19	17	6	6	4	2	7	-	3
水痘	16	-	-	1	1	2	2	2	-	3	2	1	1	-	1
手足口病	23	-	6	7	5	1	1	1	1	-	-	-	1	-	-
伝染性紅斑 (リンゴ病)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	14	-	5	8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	6	-	3	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	31	-	-	1	2	5	4	5	5	2	2	-	4	1	-

眼科定点 (8医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-

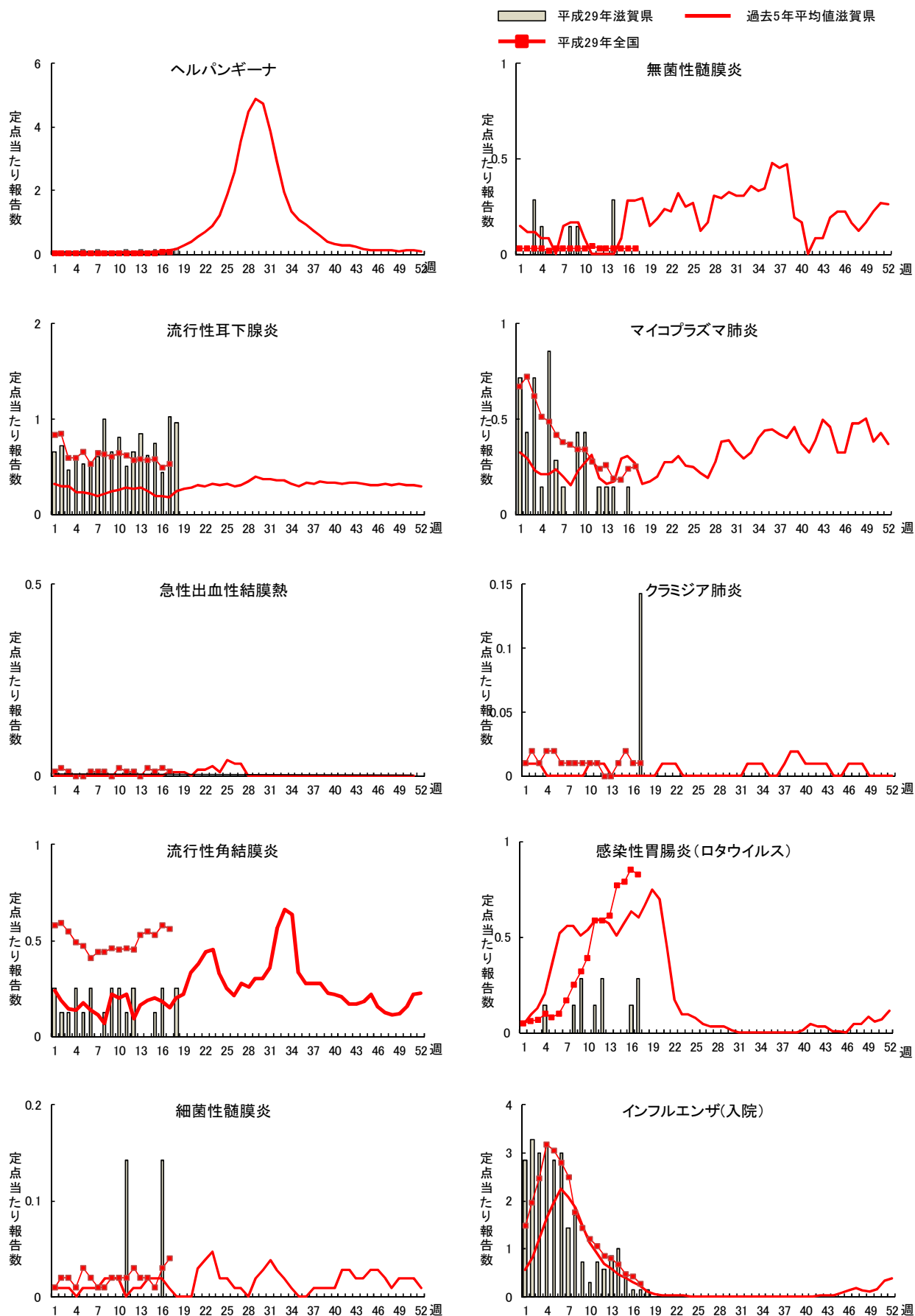
基幹定点 (7医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

「-」: 報告なし

5-1. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



5-2. 定点把握疾患(五類感染症)の発生動向(全国は前週まで掲載)



6. 全数把握疾患 詳細情報(今週報告例) [▽]

類型	疾患	診断週	保健所	年齢	性別	病型等	推定感染地	予防接種歴	病原体等
二類	結核	18	草津	80歳代	男	肺結核	国内	-	-
	結核	18	甲賀	10歳未満	女	無症状病原体保有者	県内	-	-
四類	レジオネラ症	18	草津	60歳代	男	肺炎型	県内	-	-
五類	梅毒	18	草津	40歳代	男	早期顕性梅毒Ⅱ期	県外	-	-

注目すべき感染症

■ 流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ) 感染症の話(国立感染症研究所)

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>

■ 旅行から帰って(厚生労働省検疫所) <https://www.forth.go.jp/useful/attention/index.html>

- (1) 止まらない下痢
- (2) 旅行後の発熱
- (3) 何か変? - 旅行後の健康チェック
- (4) 病院にかかる前のチェックシート
- (5) 旅行後診察用 医療機関受診前のチェックリスト

[▽] 感染症発生動向調査事業において、一～四類および五類感染症の全数報告対象の感染症が、診断した医師から最寄りの保健所へ届出されています。

7. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別(平成 29 年、全国は前週までの値) vi,vii

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国		昨年累積報告数	
	例年より多い	例年より非常に多い	累積報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	(前週)	滋賀県	全国	
二類 結核	○		81	21	18	11	13	6	5	7	6937	249	23854	
			5.73	6.16	5.35	7.59	5.67	3.84	3.21	14.19	5.47	17.59	18.79	
三類 腸管出血性大腸菌感染症	○		3	0	0	3	0	0	0	0	295	56	3641	
			0.21	0	0	2.07	0	0	0	0	0.23	3.96	2.87	
四類 A型肝炎			1	0	0	0	0	1	0	0	95	7	269	
			0.07	0	0	0	0	0.64	0	0	0.07	0.49	0.21	
オウム病			0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.07	0.00	
つつが虫病	○		1	0	1	0	0	0	0	0	46	1	500	
			0.07	0	0.30	0	0	0	0	0	0.04	0.07	0.39	
デング熱			0	0	0	0	0	0	0	0	62	4	338	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.05	0.28	0.27	
レジオネラ症			2	0	2	0	0	0	0	0	377	28	1592	
			0.14	0	0.59	0	0	0	0	0	0.30	1.98	1.25	
五類 アメーバ赤痢			1	0	0	0	0	1	0	0	343	8	1133	
			0.07	0	0	0	0	0.64	0	0	0.27	0.57	0.89	
ウイルス性肝炎	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	91	4	273	
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0	0.07	0.28	0.22
カルバペネム耐性腸内細菌感染症			0	0	0	0	0	0	0	0	442	11	1555	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.35	0.78	1.23	
急性脳炎	○		4	1	1	0	1	1	0	0	256	3	750	
			0.28	0.29	0.30	0	0.44	0.64	0	0	0.20	0.21	0.59	
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		1	0	0	0	1	0	0	0	56	1	172	
			0.07	0	0	0	0.44	0	0	0	0.04	0.07	0.14	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		4	2	0	0	1	0	1	0	195	5	492	
			0.28	0.59	0	0	0.44	0	0.64	0	0.15	0.35	0.39	
後天性免疫不全症候群	○		5	2	3	0	0	0	0	0	414	10	1428	
			0.35	0.59	0.89	0	0	0	0	0	0.33	0.71	1.13	
ジアルジア症			0	0	0	0	0	0	0	0	24	4	71	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.02	0.28	0.06	
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		2	0	0	0	1	1	0	0	125	3	307	
			0.14	0	0	0	0.44	0.64	0	0	0.10	0.21	0.24	
侵襲性肺炎球菌感染症	○		21	13	2	0	4	0	2	0	1295	40	2693	
			1.49	3.81	0.59	0	1.75	0	1.28	0	1.02	2.83	2.12	
水痘(入院例)	○		1	1	0	0	0	0	0	0	77	2	313	
			0.07	0.29	0	0	0	0	0	0	0.06	0.14	0.25	
梅毒	○		7	0	4	2	0	0	1	0	1523	30	4518	
			0.50	0	1.19	1.38	0	0	0.64	0	1.20	2.12	3.56	
播種性クリプトコックス症			0	0	0	0	0	0	0	0	50	2	136	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.04	0.14	0.11	
破傷風			0	0	0	0	0	0	0	0	18	3	128	
			0	0	0	0	0	0	0	0	0.01	0.21	0.10	
麻しん	○		1	0	0	0	0	0	1	0	158	1	159	
			0.07	0	0	0	0	0	0.64	0	0.12	0.07	0.13	

vi 今年第 1 週以降に診断された感染症の累計報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に今年の「累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を記しています。

vii 今年と過去 5 年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

【参考】今週の学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)概況(滋賀県、今週)

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)へ毎日入力いただいています。入力いただいたデータを、本感染症週報と同期間について、集計して掲載しています。

コメント

インフルエンザ A 型もしくは B 型による欠席等のうち、B 型の割合は 87%でした。

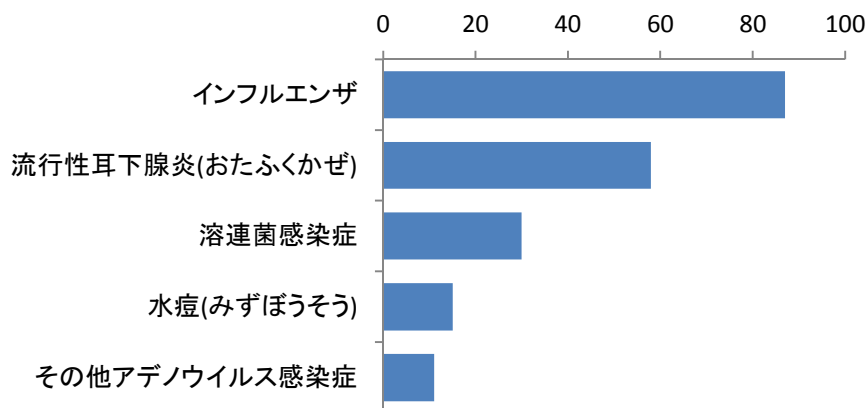


図. 学校欠席者情報収集システム(保育園サーベイランス含む)において登録数の多い疾患
横軸:登録数

【全国情報】 国立感染症研究所 感染症疫学センターHP に掲載されています。

感染症発生動向調査 週報(IDWR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

病原微生物検出情報(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>

インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-flulike.html>

【届出対象疾患】 厚生労働省 HP に掲載されています。

感染症法に基づく医師の届出のお願い

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/ef45/kansen-c/index.html>



イラストは滋賀県健康づくりキャラクター「しがのハグ&クミ」